

平成29年9月6日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

経済文教常任委員会
委員長 大塚 純一郎

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。
記

1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) J R 只見線の早期全線復旧に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 生活環境の振興に関する調査
地域産業の振興に関する調査
- (2) 調査方法 現地調査、事務調査
- (3) 調査日 7月26日、8月30日
- (4) 出席委員 大塚純一郎委員長、藤田力副委員長、目黒仁也委員
鈴木好行委員、目黒道人委員、酒井右一委員

3. 調査結果及び意見

委員会では、所管課の事業進捗上の課題等を共有する為の調査活動や、付託された陳情審査を行った。

当町が抱える課題を踏まえ、町政伸展に有効な政策等を町当局と共に考えて行動することが必要であることから、今後も引き続き積極的に調査活動を継続していく。

特に、平成26年から取り組んでいる「中心市街地活性化計画」の伸展については、国、県、そして町から多額の税金を使っている取り組みであるので、注視している。

また、只見町の観光交流人口拡大の切り札として取り組んでいる、「アウトドア拠点整備基本構想」については、スピード感をもった展開に期待したい。

7月18日の豪雨による被害が林道及び農業用施設に及んでいる現状は、今後の災害復旧工事のあり方について喫緊の検討課題と捉えている。

「民具収蔵庫新築工事」基本設計業務委託については、今後の建設事業の取り組みに対し注視している。

以上の点について、今後も委員会の中で継続して調査を進めていきたい。

以上